公益財団法人安城市学校給食協会
令和7年度第1回評議員会議事録

- 1 開催日時 令和7年5月28日(水) 午後1時30分から午後2時30分
- 2 開催場所 安城市北部調理場 2階 研修会議室
- 3 評議員数等
総評議員数 6名
出席評議員数 5名
出席評議員 杉浦章介、稲留雄一、浦田士郎、石川厚子、石川朋幸
欠席評議員 中村麻理
出席理事 石川良一(理事長)、神谷 徹(副理事長)
出席監事 大見 孝

- 4 事務局
原田淳一郎(事務局長)、小栗滋昭(事務所長)、香村正志(北部調理場施設長)、
筒井良廣(中部調理場施設長)、鈴木栄一(南部調理場施設長)
林さや香(協会栄養士)、中山衣里(事務局)、北越里佳(事務局)

- 5 事務局以外の説明者
安城市教育委員会教育部長 長谷部朋也
安城市教育委員会教育部総務課長 久野晃広

- 6 議事
第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
第2号議案 評議員及び役員の選任について

- 7 会議の概要

- (1) 理事長あいさつ

梅雨入りという言葉も聞かれるようになり、蒸し暑い季節になった。ここに第1回評議員会が開催でき、皆様に出席いただけたことに感謝している。

今年度の給食は、認定こども園・保育園、サルビア学園、小中学校に4月から順調に給食を提供している。学校生活も通常通りに戻ってきており、子どもたちの楽しい給食の時間が戻ってきたことを嬉しく思っている。

ららぽーと安城のオープンによる交通渋滞で給食の配送に影響が出ることを危惧したが、中部小に配送車を増車するなどの対応を図ったため、無事給食を提供できている。新学期の給食開始から3日間は、スタートダッシュメニューとして人気のあるメニューを提供し、順調な滑り出しが出来た。イカフライのレモン煮と、ビビンバと焼きそばを人気メニューとして提供した。

- (2) 理事長の議案説明

議案について簡単に説明する。「第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について」であるが、食育推進事業については、出前講座をはじめ、夏休み期間を活用した「夏休み!ワクワク調理場探検」や「親子給食調理教室」といった体験型の事業を開催するなど、計画どおりに実施できた。

物資購入事業では、年間414万食余の給食食材を12億2千2百万円余で購入した。食材費の価格高騰があったが、市の予算で物価高騰対策費を計上していただいていたので、予算の範囲内で購入することができた。

給食調理事業については、インフルエンザによる学級閉鎖や保育園等では台風により2日間給食が中止となったが、ほぼ例年どおりの食数となっており、安全・安心でバランスの取れたおいしい給食が提供できたと思っている。

次に決算であるが、総収入24億6千3百万円余に対して総支出は同額の24億6千3百万円余であった。詳細については、のちほど担当から説明する。

去る4月30日に監事による決算監査を受けている。

次に、「第2号議案 評議員及び役員の選任について」であるが、今年は理事の改選の年となるので理事6名と、辞任される評議員1名、監事1名にかわる新たな方を合わせて、合計8名の選任をお願いしたい。

議案は以上2点となるので慎重審議をよろしくをお願いしたい。

(3) 出席数の確認

事務局長より、中村麻理評議員が欠席であるが、定款で定める決議に必要な過半数の出席があることから、会が成立することを確認した。

(4) 議長の選出

定款の規定に基づき、出席した評議員の互選により杉浦章介評議員を議長に定めた。

(5) 議事録署名人の選出

定款の規定に基づき、議長の杉浦章介評議員と出席した評議員の中から稲留雄一評議員及び石川朋幸評議員を議事録署名人に定めた。

(6) 議長あいさつ

市政について説明する。現在、第9次総合計画で、「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市安城」として、子育てをしやすい、子どもを核とした町づくりを目指している。これまでの小中学校の学校給食の無償化、第2子以降の低年齢児保育料の無償化、高校生18歳までの医療費の無償化は継続して行う。

給食は、物価が上がっていて、予算で9,000万円ほど増加している。調理場の工事は、今年度は夏休みに中部調理場で予定している。中部調理場は保育園とサルビア学園に給食を提供していて、例年は休みがないが、今年は休みにして設備改修工事を行う。その間は、給食はおぎにりやパンなどの簡易給食にし、お盆の間は弁当にする。

その他では、育休退園の解消として、令和7年度はこれまでの出産日の2か月後の月末までから6か月後の月末までに延長になり、令和8年度には育休退園を完全解消の予定。この施策で低年齢児が増えるため、民間園に低年齢児用の保育士さんを雇用するための補助を行う。

中学校8校の体育館と武道場に、夏の大会が終わったあとの9月から、空調をつける工事をする。小学校は9年度からの予定。

その他、ソフトボールA球場の改修を行う。芝生の観覧席を固定席にし、日よ

けを設置する予定。

ららぽーと開業後は、予想通りゴールデンウィークは大渋滞で、先日の日曜も北安城駅近くの道は大渋滞していたが、平日は平常通りになった。三井不動産との協定で、ららぽーとの屋上は、市内の保育園にも使ってほしいということになっていて、また真ん中の吹き抜けはイベントにも使える。

大相撲は、夏場所のとき安城に宿舎のある大の里が、今回は横綱としてくるので、盛り上がるのではと期待している。七夕まつりは、5月18日に親善大使が決まった。60人の応募があった。

議会については、議長と副議長が決まり、6月議会では平和都市宣言をする。三河地域はこの宣言には遅れていたが、戦後80年ということで、参加することとなった。

議長あいさつの後、議長の進行により議案の審議に入った。

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について

事務局長より、事業報告書及び決算報告書に沿って説明した。

1ページの協会の概要については、新たな記載は無い。事業実施の総括については、4ページ以降で詳しく説明するのでここでの説明は省略する。2ページの理事会・評議員会等に関する事項では、例年通り評議員会が5月と11月、理事会が5月と3月の開催だが、10月に「第2回評議員会開催の招集について」を議題に理事会を书面開催した。監査については、4月に決算監査、10月に中間監査を実施していただいている。

4ページ以降の事業実施については、給食事務所長から次の内容を説明した。

4ページの食育推進事業について、本協会では公益財団法人として公益目的事業を実施しており、「食育の普及啓発事業」として、出前講座等を行っている。

保育園、認定こども園、小学校低学年を対象に出前講座を実施し、調理員の方が手作りした協会イメージキャラクター「あんきゅー」人形を使って、衛生面の大切さや調理場の様子をわかりやすく紹介している。

保育園6園で6回開催し200人、小学校6校で21回開催し588人の参加があった。出前講座は学校給食について知っていただく第一歩となるので、今後積極的にPRに取り組んでいく。

給食協会のホームページでは、献立カレンダーで給食メニューや写真を紹介し、給食の人気メニューの簡単レシピを掲載することで、給食に関する情報や魅力を発信している。令和6年度の検索性数は、月間平均6,119件で5年度と比較して17件減少しているものの、近年では高い数字を保っている。

次に、「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージの募集事業」について、小学6年生を対象に、忘れられないメニューやエピソードなど給食に関する思い出の作文、絵画・ポスターを募集した。また、給食を食べる最後の年となる中学3年生を対象に、調理員に対するメッセージを募集した。応募状況は記載のとおりだが、入賞作品はホームページで紹介している。

特に、メッセージについては、北部調理場の紹介DVDを学校の授業で活用していただいたこともあり、多くの応募があった。メッセージは調理員への感謝の気持ちが伝わってきて、大変励みに感じる。

5ページの「親子給食調理教室開催事業」は、給食の人気メニューを小学生とその保護者で作るもので、入念な手洗いの仕方や調理の方法などを体験し、給食についての理解と食の大切さを楽しく学んでもらった。毎年、大変好評な事業で、定員を超える応募があり、2日間開催で15組30人が参加した。

次に、「調理場施設見学・試食会の受入れ事業」では、小学校入学や保育園等の入園を控えたお子さんの保護者を対象に、施設見学と試食会を実施した。

保育園等新入園編は2月に中部調理場で14人の参加があり、小学校新入学編は11月に北部・南部調理場で各1回開催し、合計32人の参加があった。

また、令和4年度から新たに始めた「夏休み！ワクワク調理場探検」を北部調理場で開催し、2日間で35人の参加があった。この行事は、なかなか入れない調理場内で、調理方法や調理器具の使い方を体験することで、給食がどのように作られるかを知ることができるもので、参加した児童へのアンケートでは、いろいろな驚きや気づきがあったとの感想が多く、非常に好評を得ている。

続いて、「地元食材の啓発事業」では、毎年1月の給食で「安城を食べる月間」として安城市や近隣市の産物を多く取り入れたメニューを提供している。

また、「食育通信」を作成し、令和6年度は小松菜をテーマにして、特徴や栽培方法、生産者からのメッセージなどを載せ、小中学校の教室に掲示していただき、地元食材の魅力や地産地消の一助となるようPRした。6ページには、小さくて申し訳ないが、その「食育通信」を掲載している。

また、安城産の産物をPRするため、令和4年度に市制施行70周年記念事業として実施した「学校給食レシピコンテスト」の入賞作品を、市内の小中学校に給食で提供した。

次に、7ページの公益目的事業の2つ目の、学校給食の調理等に関する事業について、まず「物資購入事業」では、市内57校園の児童、生徒、園児等への年間414万食余の給食提供に必要な給食用主食及び副食物資を12億2,298万円余で購入した。

ア「給食実施状況」は、令和6年度は5年度に比べ、全体で4万7千食ほど減

っているが、これは少子化に伴う児童生徒数の減少により、調理食数が減ったことが大きな要因となっている。

イ「給食用物資納入業者」は、契約業者数に変化はありません。

ウ「物資検討会 検討品目数」は、月に一度程度、味や扱いやすさ、安全性と価格とのバランスを考えて適正な給食物資を選定する「物資検討会」を開催しており、そこでの検討品目数は増加しているが、物価高騰の影響で価格が安定しないため、使用頻度が高いものなどの年間を通して価格を固定する年間物資は敬遠されるため、昨年度に引き続き減少傾向が継続している一方、その分物価高騰による価格を反映しやすい学期ごとに価格を決める学期物資や月ごとの月物資が増加している。

エ「物資購入実績（種類別）」は、令和6年度は、5年度より年間購入費が5,800万円余上昇している。これは、先ほどの食数減少に伴う減少分を上回る物価上昇による物資の値上がりが必要な要因となっている。

次に、8ページのオ「物資購入実績（月別）」は、施設区分ごとに月別に集計した表で、9ページから11ページにかけて、給食調理事業として、調理場別の令和6年4月1日現在の管轄小中学校、保育園などの基準食数と月別の調理食数が記載されている。

1日当たりで、北部調理場は、小学校11校、中学校4校の児童・生徒及び教職員の食数を合わせて8,870食、中部調理場は保育園・認定こども園など28園に3,940食、南部調理場は小学校10校、中学校4校に合わせて8,621食で、合計21,431食を調理・配送している。

ここで、事務局長に交代し、事務局長が12ページのその他の事業について、次の説明をした。

市役所文書室内の印刷業務を受託しており、今後は退職補充を行わずに、給食事業に集約していく計画ではあるが、印刷機器の操作を熟知した職員がいるので、市役所の希望で業務を続けている。

以上で令和6年度の事業報告についての説明を終了した。

続いて、事務局長が決算について、以下の説明をした。

14ページの貸借対照表で、流動資産の現金預金221,975,552円は、中段より下にある流動負債の未払金と預り金の合計額と一致している。また、特定資産の退職給付引当資産の305,284,583円は固定負債の退職給付引当金に対応しているため、残有資産は未払金、預り金及び退職給付の引当金として目的をもったものと、基本財産だけになっている。

22ページ財産目録について、真ん中より下にある流動負債に、先ほどの未払金と預り金、固定負債に退職給付引当金が計上されており、資産合計との差が一

番下の正味財産となる。本協会は収益を目的とせず、収益である受託収益と補助金収益は精算により返金しているので、基本財産は3,000,000円で当期の増減は無い。

15ページからの正味財産増減計算書で増減の主なものについて、経常収益で増減の大きなものは、業務受託収益の総務課分の委託料で、100,829,153円増であるが、これは物価高騰による給食物資購入費の増が主な要因である。また、経常費用の光熱水費がガス料金の単価の値上げ等によって約880万円の増、アレルギー除去食の南部調理場管内の配送業務の新設などで委託料が約3,000万円の増、給食物資購入費については食数の減少等による減少要因が約1,300万円だが、それを上回る食材費の物価高騰等による増加要因が約7,100万円で、差し引きで約5,800万円の増となった。この増減を事業会計別に記載したものが、17・18ページの正味財産増減計算書内訳書になる。

23・24ページの決算概要説明について、主な増減は先ほど説明した調理場管理運営事業の光熱水費の増と、給食配送業務の業務増加等による委託料の増、給食物資購入事業で給食物資購入費の増などが挙げられる。決算についての説明は以上である。

議長より第1号議案の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川朋幸評議員

事業報告書7ページの「エ 物資購入実績（種類別）」の表を見ると、年間調理数は減っているが、物資購入に係る費用が約5%増加している。特にお米については「令和の米騒動」と言われるほど市場の米価が2倍以上の値上がりを見せている状況である。

こうした状況が続くと、給食へのごはんの提供に影響がでてくるのではないかと思うが、学校給食にごはんの提供が維持できるのか。農業新聞に、全国の学校で米飯給食やデザートなどが減っているという記事が載っていた。

また、米飯に限らず、給食の食材の価格高騰によって地元食材が使いにくくなっていないか、地産地消への影響が懸念される。安城市ではこうした影響が出ていないか教えてほしい。

事務局長

コメの価格については、愛知県では愛知県学校給食会が給食物資用の米の確保と、年間をとおした炊飯調理をした米飯の価格を決定しており、本協会は愛知県学校給食会と契約することによって米飯を確保している。愛知県学校給食会から

示された米飯の価格については、コメ不足による市場価格の高騰の影響を少なからず受けており、令和6年度が前年比約6%、令和7年度については前年比約21%の値上げとなっている。

米飯のみではなく、給食物資購入費については、予算上、物価高騰対策費を計上していただいているので、現在のところ、令和6年度と同様に、令和7年度の献立についても週3回以上のごはんの提供を予定している。

しかし、近隣市などでは、米価高騰の影響を受けて、米飯の回数を減らしている自治体もあるようなので、今後、食材費全体の価格の状況を見ながら、米飯の回数の変更についても市と協議しながら検討していく必要があると考えている。

政府の対策で米価が値下がりして安定することを期待するが、今後は米価及び給食食材費の価格の変動に注視し、愛知県学校給食会及び市教育委員会と情報共有をはかりながら、給食の質を落とさず適正な食材の確保に努めていきたい。

次に、物価高騰の地産地消への影響は、青果については碧海5市産を地場産と位置づけ、収穫量が多い時期を考慮して地場産農産物という区分を設け、著しく高価でないかぎり優先して選んでいる。地産地消への影響は、価格以外にも気候変動の影響が大きく、野菜の収穫時期が乱れたり、収穫量が大きく減ったりすることが多いが、1月にはチンゲンサイやニンジン等の安城産や地場産の野菜が豊富に調達できるため、毎年「安城を食べる給食月間」と設定し、より積極的に取り入れている。また、米飯については、100%安城産のお米を使用している。地場産物については、引き続き年間を通して積極的に調達するよう努めていきたい。

石川朋幸評議員

物価は上がってきているが、子どもたちのために、市の協力をぜひお願いしたい。地場産の野菜についても、生産者ががんばっている所以、今後もよろしくお願いしたい。

決算報告書23ページの決算概要説明書の調理場管理運営事業の委託料が約3,000万円増加しているが、その内容を教えてほしい。また、給食配膳事業の給料・職員手当等の人件費が、前年度から減少しているが、その理由を教えてほしい。

事務局長

調理場管理運営事業の委託料の増加原因は、給食配送業務が南部調理場管内のアレルギー除去食配送業務の増加や運転手などの人件費の増額によって約1,200万円の増、令和5年10月から受託している調理場から発生する廃棄物等の

運搬・処分業務が、令和6年度から年間を通して受託しているため、その増加分が約1,400万円、その他経費の増額等で委託契約の金額が全体的に増額し、合計で3,000万円の増額となった。

給食配膳事業の人件費の減は、小中学校の給食配膳と学校用務業務を行う職員については、今後、協会は給食調理事業に集約していくという方針に基づいて、定年延長及び継続雇用によって65歳に達した職員や自己都合で退職した職員は欠員不補充としている。令和5年度から6年度にかけて、小学校で3人、中学校で1人の職員が退職したため、その分の人件費が減少している。

なお、退職した職員の欠員補充は、市教育委員会が会計年度任用職員を雇用して対応する。

他に質疑はなく令和6年度事業報告及び決算についての質疑は終了した。

議長より第1号議案について、原案のとおりで異議ないか可否を諮ったところ、異議なしの声により全員一致で可決した。

第2号議案 評議員及び役員の選任について

事務局長より、理事と評議員、監事の選任について説明した。

今回は、任期満了を迎える理事6名と、辞任される評議員1名と監事1名の後任の方計8名の選任の承認をお願いしたい。

辞任される稲留雄一評議員の後任として、安城市小中学校長会代表の波田章博様を選任したい。

次に、理事は2名の方に新しく理事をお願いしたい。

まず、石川良一理事は再任。

辞任される伊藤一明理事の後任として、安城市小中学校PTA連絡協議会代表の柰原健太様。

黒柳令子理事は再任。

黒柳厚子理事は再任。

山下眞由美理事は再任。

辞任される神谷 徹理事の後任として、安城市教育委員会教育部長の長谷部朋也様。

次に、監事は1名の方に新しく監事をお願いしたい。

辞任される若林康成監事の後任として、安城市会計管理者の河合英明様。

以上8名の選任について、ご承認をお願いしたい。

議長は理事の選任について、異議の発言がなかったことを確認し、第2号議案は原案のとおり全員一致で可決した。

議長は、以上をもって議案の審議を終了した旨を述べ、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名及び押印する。

令和7年5月28日

議 長 杉浦 章介 ⑩

議事録署名人 稲留 雄一 ⑩

議事録署名人 石川 朋幸 ⑩